

発達障害のある人の キャリアアップ創出プロジェクト

第9回

2019/12/21

1. オリエンテーション

2. 前回の振り返り

3. 「障害者採用について」

ジョブサポートパワー(株)代表取締役 小川慶幸氏

4. ロジカルシンキング入門と簡単ワーク ~1年間の
まとめをフレームワークで言語化する~

5. 次回の案内、その他

4. ロジカルシンキング入門と簡単ワーク ~1年間のまとめをフレームワークで言語化する~

ロジカル
シンキング

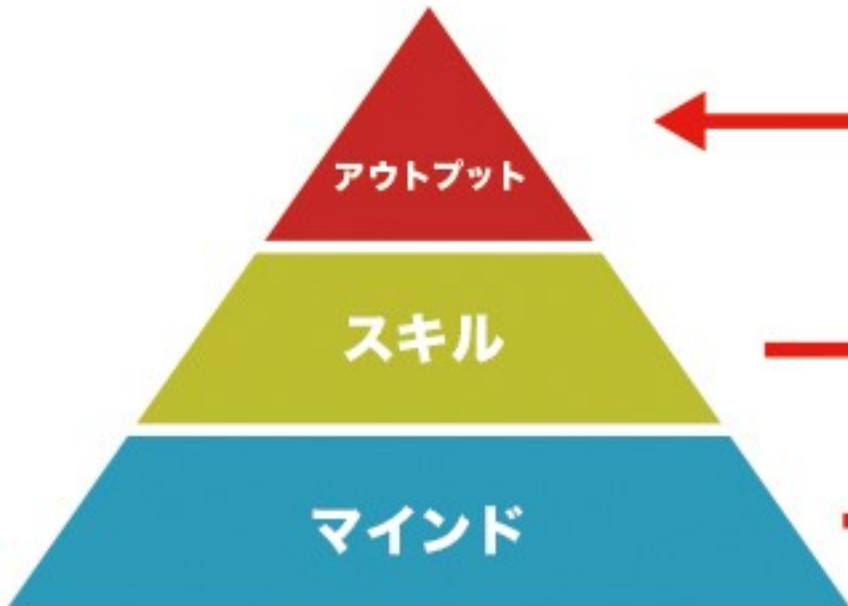
クリティカル
シンキング

「ツール」

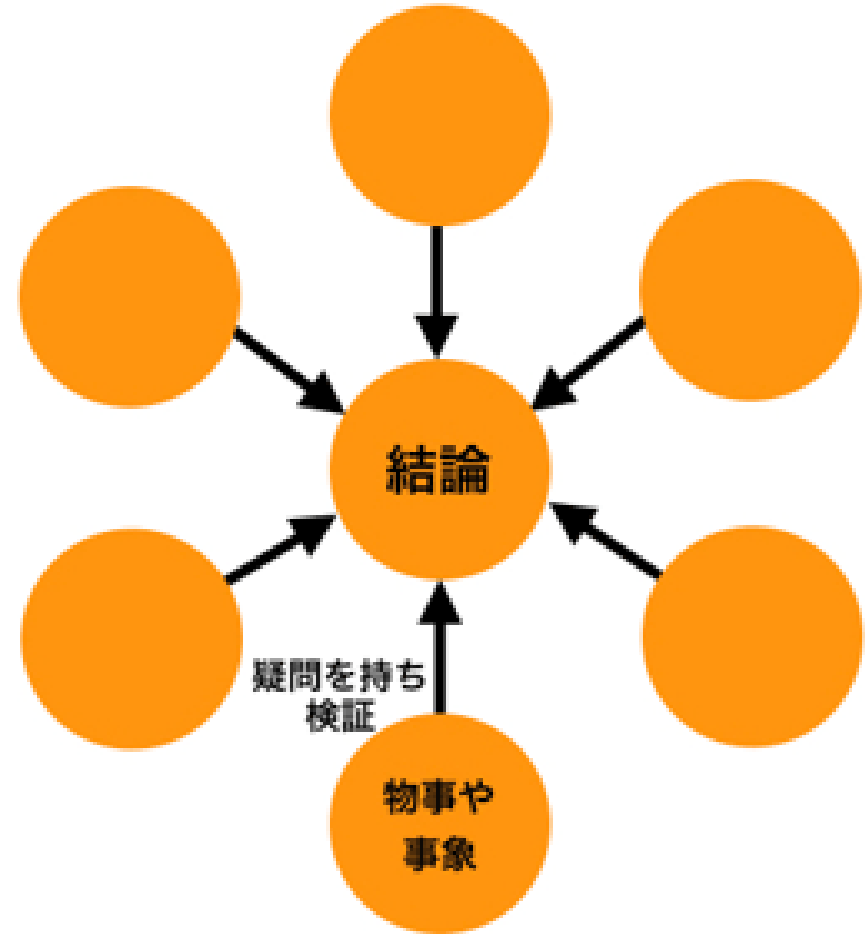
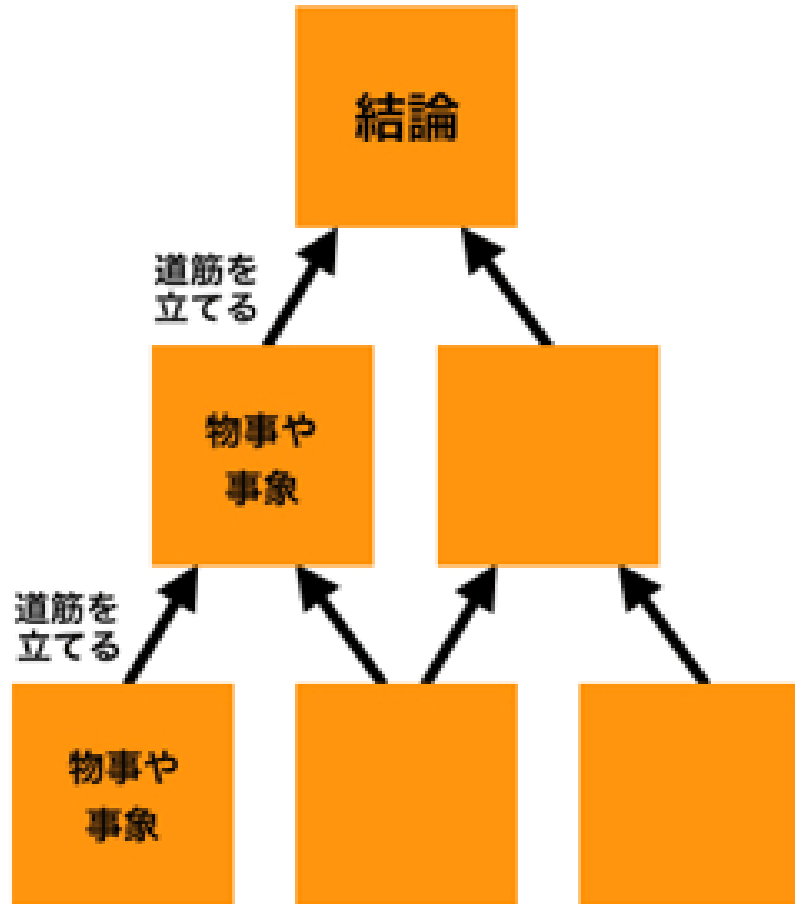
物事に筋を通らせるための技術

「マインドセット」

頭の中を整理せず、リラックスせず、
というような状態の時に
反射的に起こってしまう思考の癖



	ロジカル・シンキング	クリティカル・シンキング
意味	論理的思考	批判的思考
物事や事象の扱い方	整理・分析する	客観的に見つめ直す
プロセス	筋道を立てて、結論を導き出す	疑問を持ち、検証しつつ、結論を導き出す
ポイント	順を追って考える	多方面から捉えて考える



論理思考

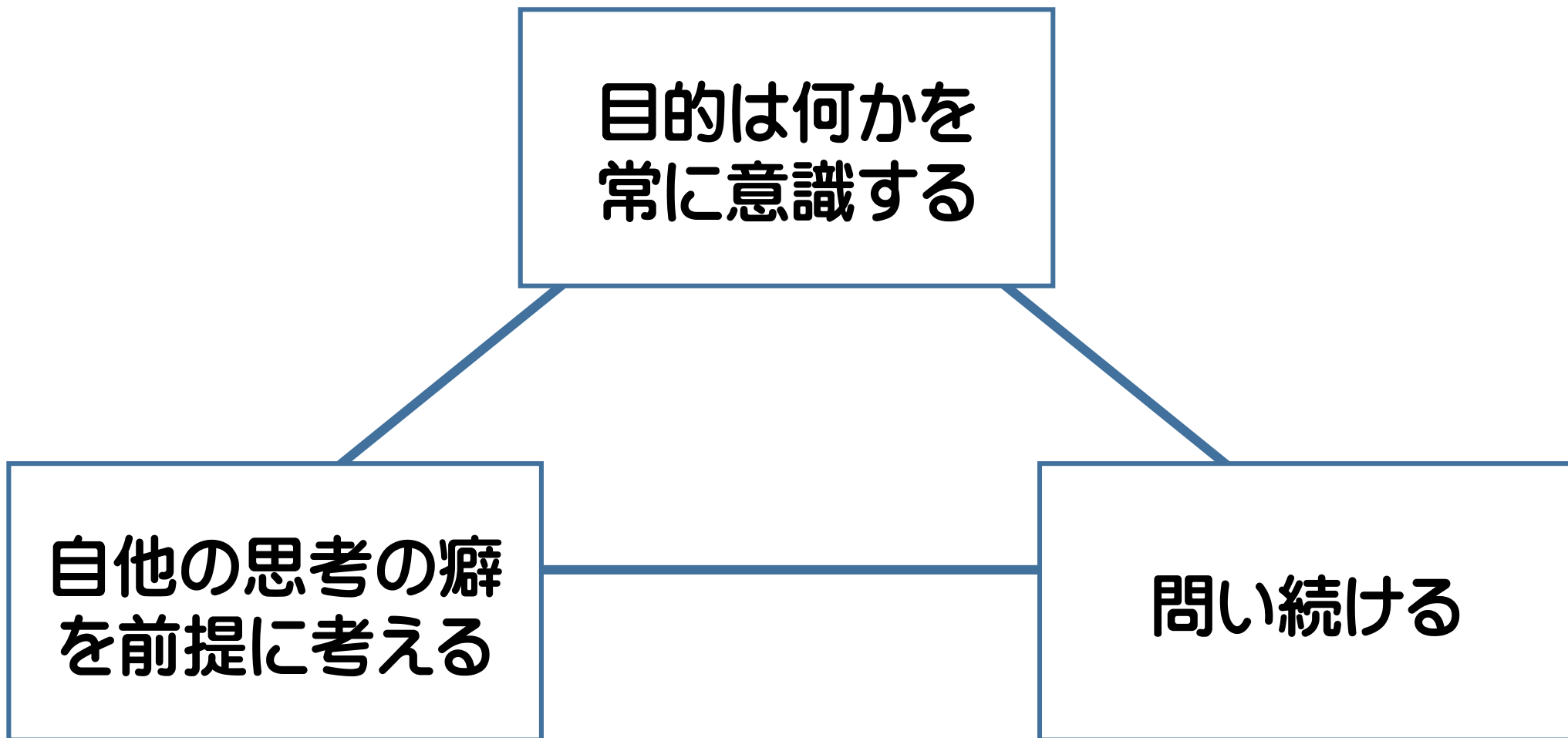
ロジカルシンキング

基本となる3つの姿勢

目的は何かを
常に意識する

自他の思考の癖
を前提に考える

問い続ける



プロジェクトの全体像

MANABIYAカフェ
(学びのある居場所)

キャリア塾
(考え抜く力)

メンタリング
(個別相談)

知っとくビジネス講座
(仕事をする力)

ビジネススキル基礎講座
(言葉にする力)

思考力 - 考え抜く力を鍛える

<思考力を高めることの意味>

①問題解決ができる

与えられた問題を解決するための手段を選ぶことができる

②先を見通すことができる

与えられた条件のなかでの最善策を取ることができるようになる

③対人関係をより良くすることができる

相手にこう接したら相手はこう感じるな、と相手の立場に立って考えることができるようになる

「我慢」は思考力を低下させる

知識

思考力



知恵

知識を知恵に変換する能力



INPUT



OUTPUT

知識は過去のもの、思考は未来に向かうもの

- ①結論から考える・・・「仮説思考力」
- ②全体から考える・・・「フレームワーク思考力」
- ③ものごとを単純に考える・・・「抽象化思考力」
- ④常識を疑う・・・「ゼロベース思考」



① 結論から考える・・・「仮説思考力」



論理を積み上げて結論をだすのではなく

仮の結論を立てて正しいか検証する

→効率的に問題解決が行える・労力が少なくすむ

仮説→検証→解決というプロセスが仮説思考

例えば・・

< 仮説 >



発達障害のある人は自分の特性を理解し

言語化できればコミュニケーションは問題なく

できる

② 全体から考える・・・「フレームワーク思考力」



仮説を立てる際の情報や論点の整理、

あるいは仮説を検証する際に有効

→客観的に問題を捉える、問題解決の効率と精度を高める

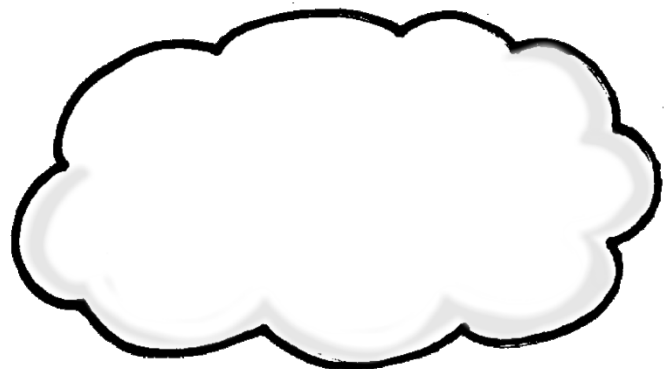
フレームワークで切り分け、俯瞰的に整理する

MECE／マトリックス／PDCA／5W1H／3C／SWOTなど

③ ものごとを単純に考える・・・「抽象化思考力」

複数の物事の共通点を見つけひとつにまとめる

物事を大きな概念 (まとめり) で広い視点で捉える



抽象化思考

概念化

④ 常識を疑う・・・「ゼロベース思考」

既成概念や固定観念にとらわれなく何もない
状況から最善の答え(解決策)を見つけ出す

あるべき姿やものごとの本質を考える



知識は、ときとして思考の邪魔をする

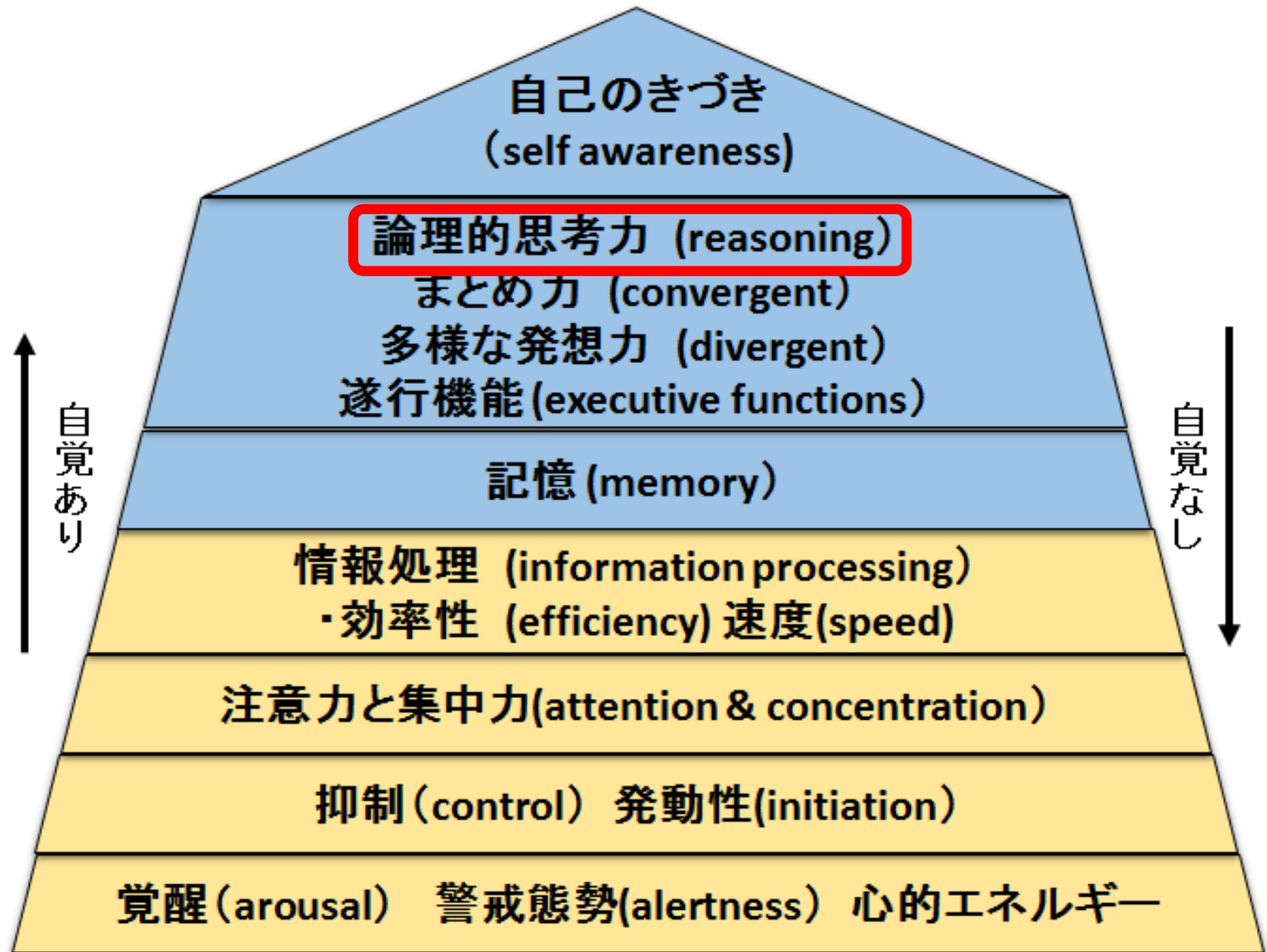
考えがまとまらない



うまく説明ができない

文字にできない





相手に伝えて理解納得する
話をうまくすることが目的ではない
論理的に訴えることが要求される



プレゼンテーション

レポートイング
(ライティング)

ロジカルシンキング
(論理的思考)

企画書などを
論理的にストー
リーだてて考え
て文章にまとめ
ていく

ファシリテーション



ビジネスにおける
土台となるスキル

相手の意見を論理的に整理し
違った意見を持っている人に論
理的に説明しながら合意形成し
ていく

論理的思考のフレームワーク

情報の整理の仕方を学ぶ

フレームワーク = 思考ツール

「ロジカルシンキング」するうえでの「3つの整理」

感情の整理

感覚的に捉えていることを論理的な視点で受け止めなおし、頭の整理、感情のコントロールに役立たせる

情報の整理

今ある情報を分解／類別／統合したり、足りない情報を発見して、意思決定やコミュニケーションに役立たせる

問題の整理

何が本来の問題なのか、そして問題の真因と有効な解決策を探し当てることに役立たせる

ロジカルシンキング (論理的思考)

- ・演繹法 (えんえきほう)
- ・帰納法 (きのうほう)
- ・弁証法 (べんしょうほう)

ロジカルシンキング (論理的思考)

演繹法 (えんえきほう) 三段論法

「○○だから、△△である」という論理を数珠つなぎにして、
結論を導き出す方法

- ADHDの人は落ち着きがない傾向がある
- Aさんは落ち着きがない
- AさんはADHDである

前提が正しければ結果は正しくなるが、原則に偏見や誤りがあると間違った結論 (論理が飛躍する) になる

ロジカルシンキング (論理的思考)

帰納法 (きのうほう)

多くの観察事項 (事実) から類似点をまとめ上げることで、結論を引き出すという論法

- A社は新製品が出ていない
- A社の従業員が多くやめている
- A社から支払いの先延ばしがあった
- A社は経営難に陥っている (推論)

導き出された結論はあくまで統計論 (推論) である

ロジカルシンキング (論理的思考)

弁証法 (べんしょうほう)

ある命題 (テーゼ = 正)、反対の命題 (アンチテーゼ = 反)
それらを本質的に統合した命題 (ジンテーゼ = 合)

- 雨天でも野球ができるようドーム球場を作る
- 野球は屋内ではなく青空の下行うものである
- 屋根が開閉するドーム球場を作る

ビジネスフレームワーク -
経営戦略や業務改善、問題解決などに役立つ分析ツール
や思考の枠組み

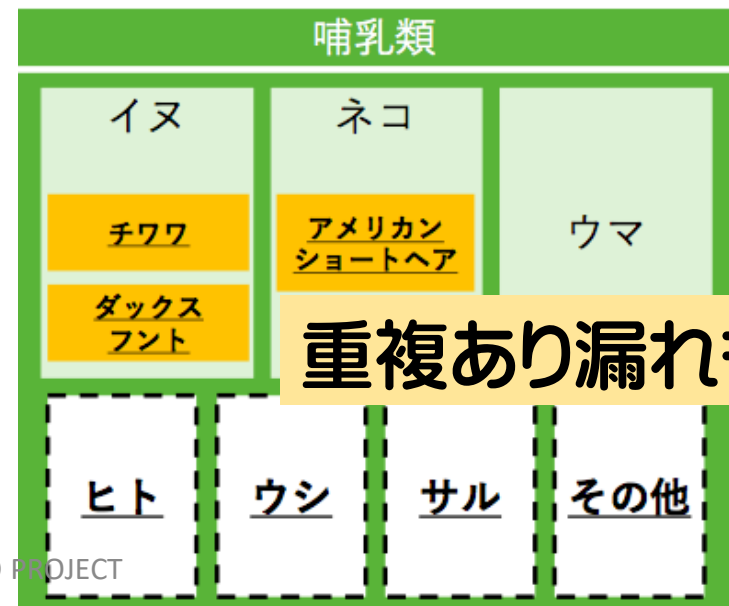
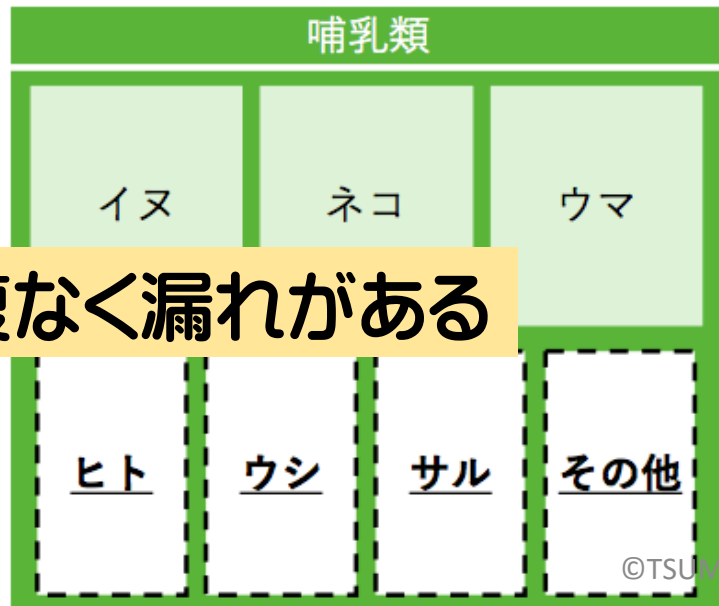
【ベース思考】

- **MECE** (Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive)
「お互いに重複せず、全体に漏れがない」
- **ピラミッド・ストラクチャ、ロジックツリー、等**

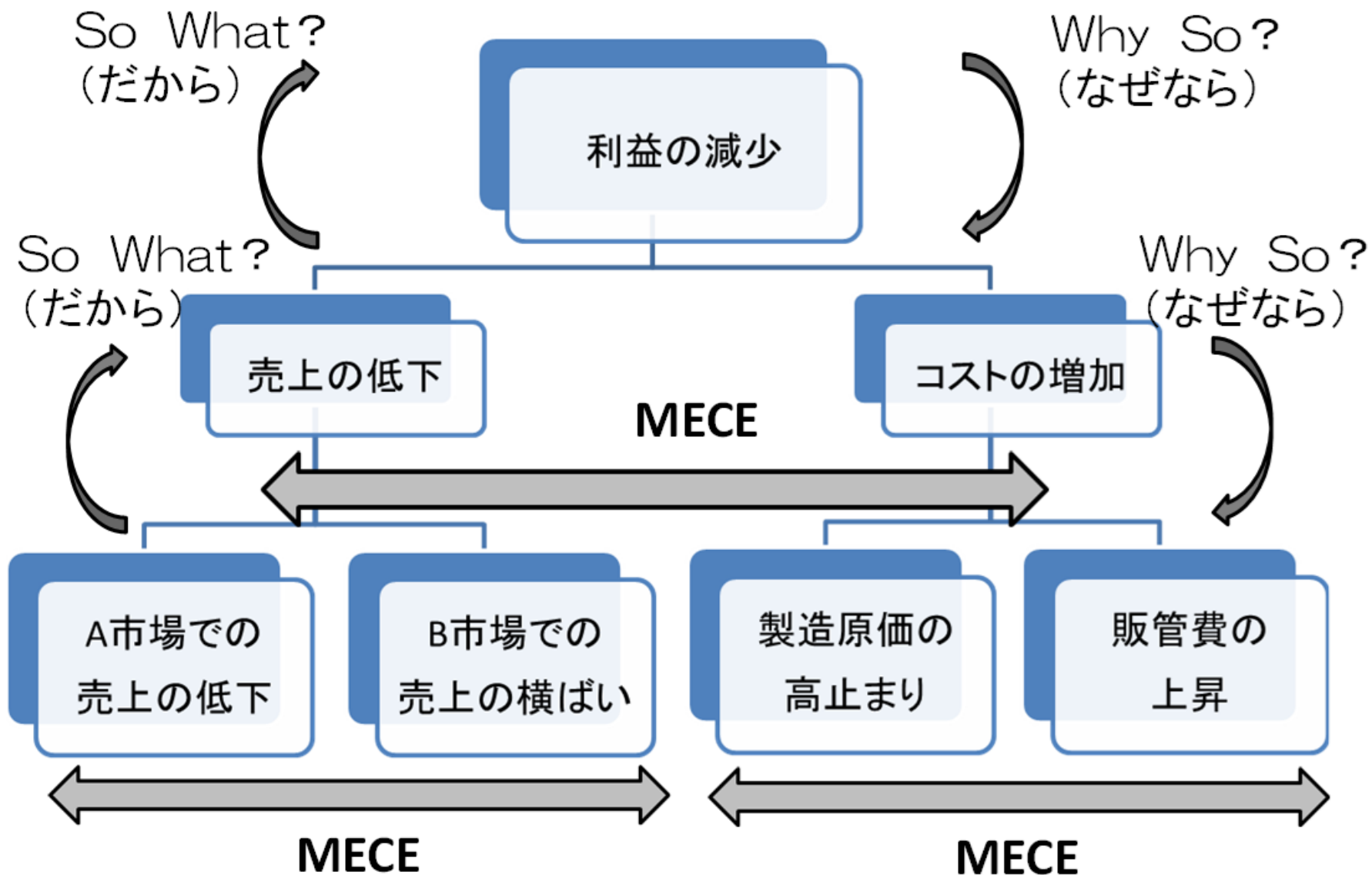
【市場（外部）環境分析】

- **3C** 分析
- **SWOT** (スウオット) 分析
- **4P / 4C** マーケティングミックス

MECE (Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive)



ピラミッド・ストラクチャ



ピラミッド・ストラクチャ

どうなるのか

なぜそう言えるのか

Why so?



Customer

市場の見通しは
明るい

Why so?



ユーザー
数の増加

規制が緩
和された

結 論

(この事業の投資すべきか)

Company

自社の強みがいか
せる

既存商品
とのコラボ
が可能

技術に特
許取得

So what?



Competitor

競争が弱い

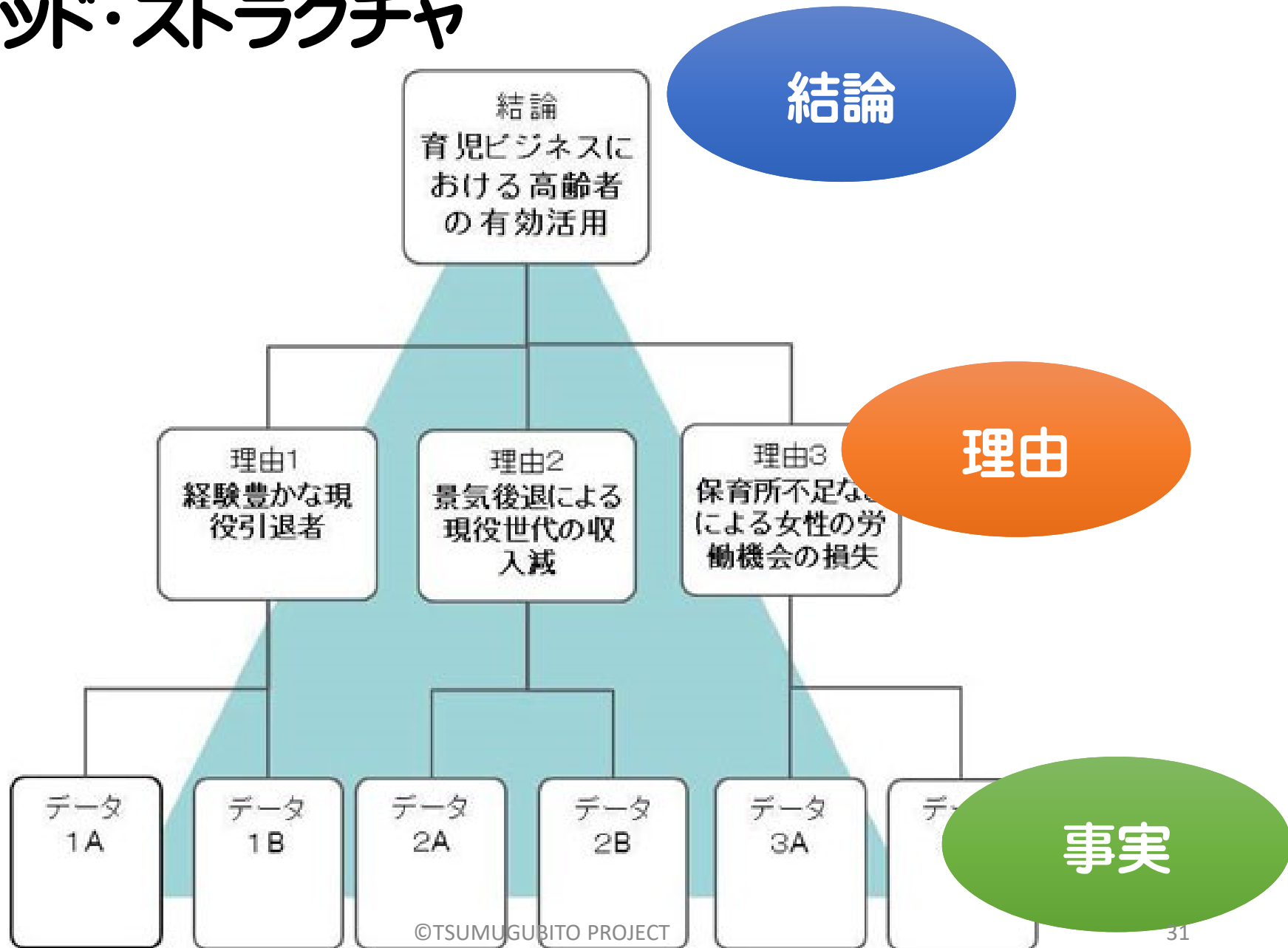
So what?



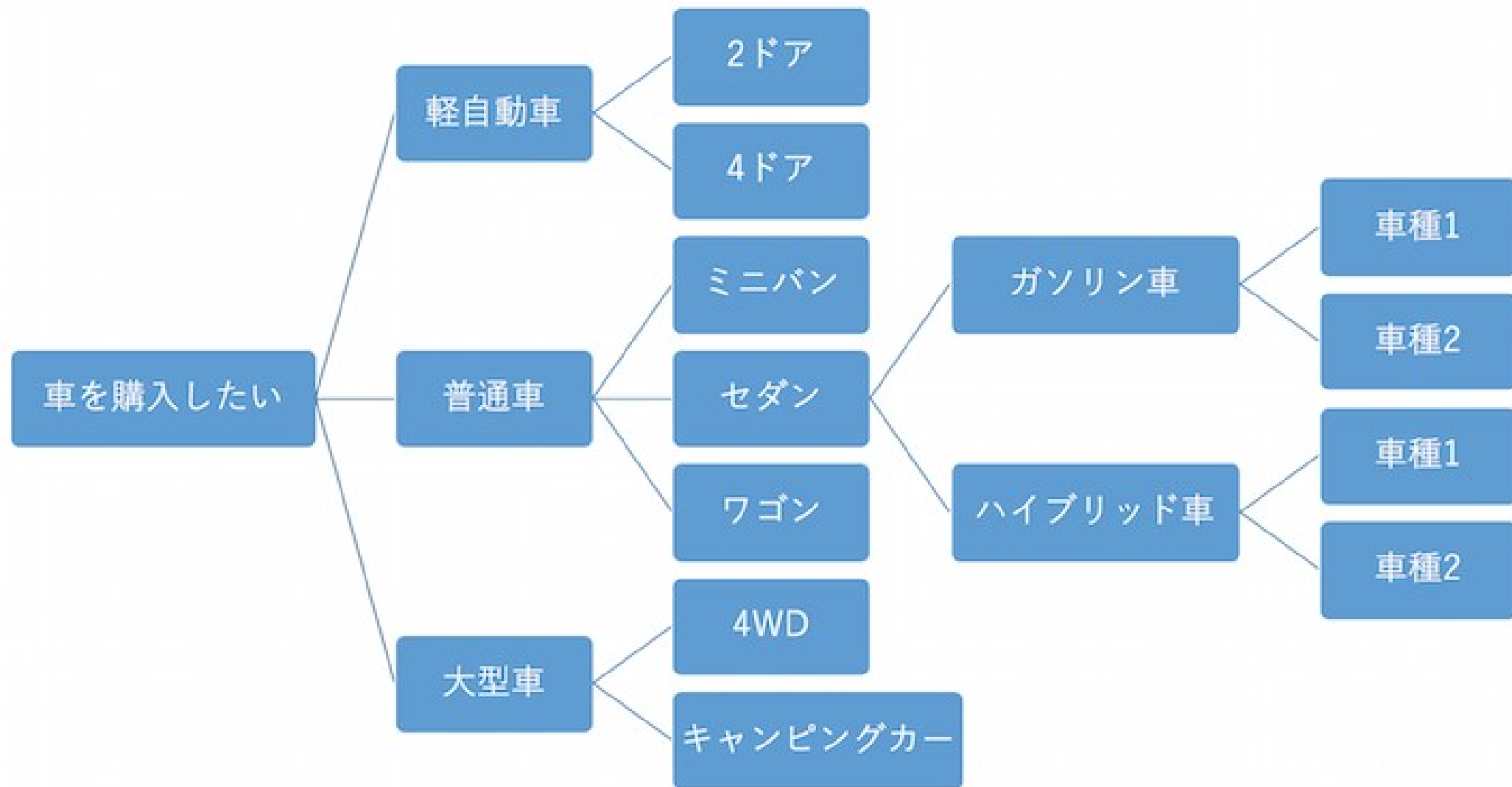
競争数が
少ない

競争の技
術が古い

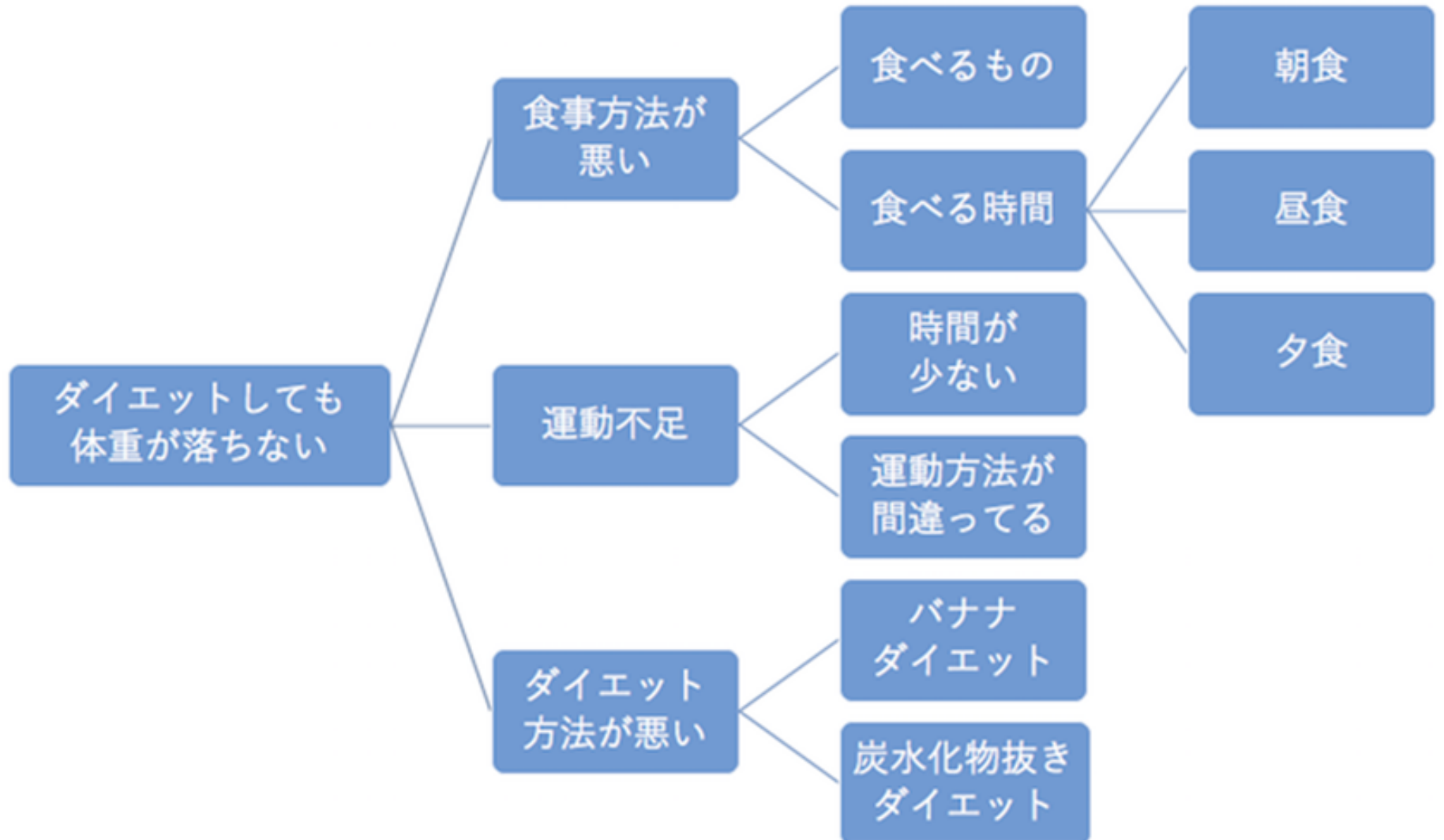
ピラミッド・ストラクチャ



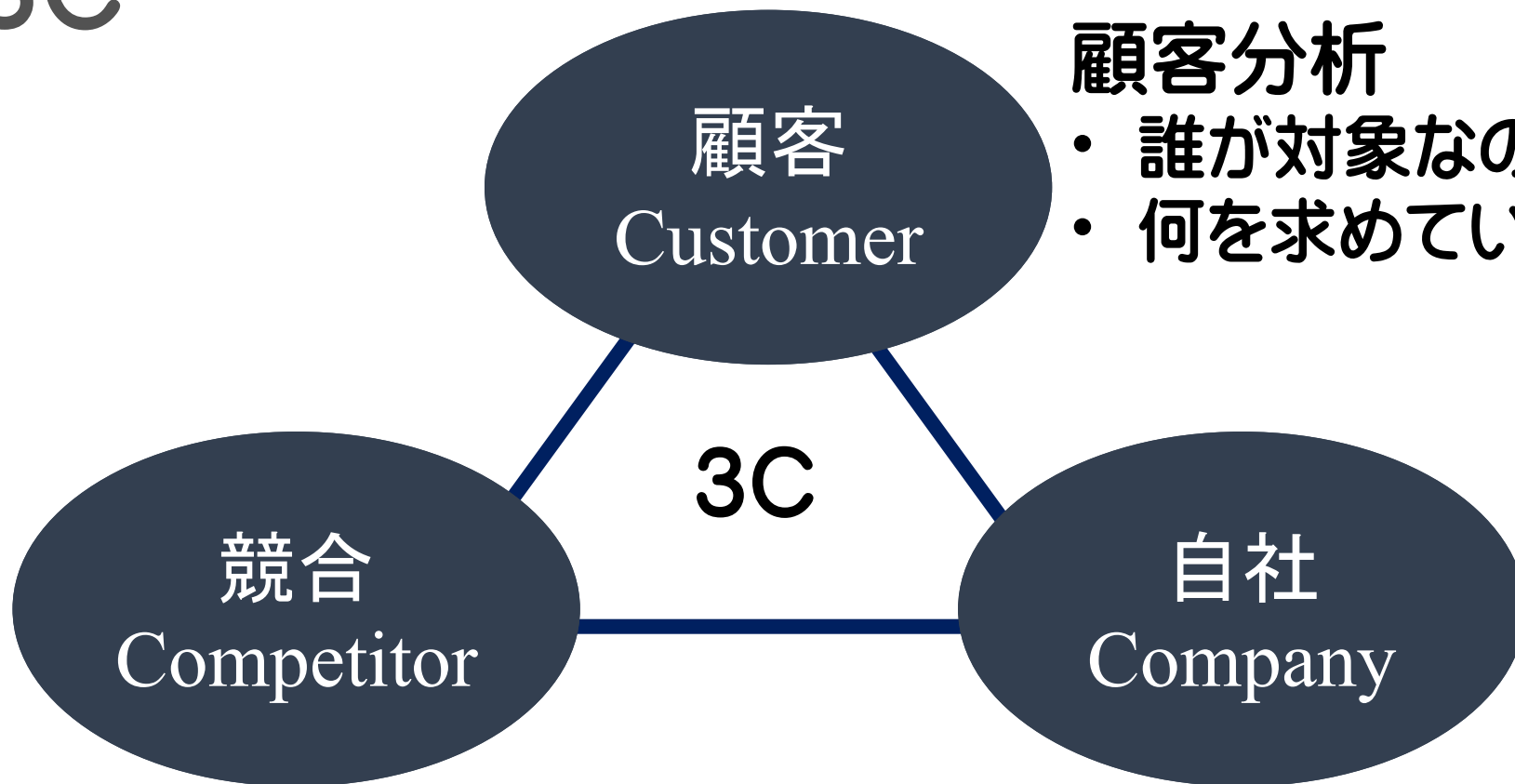
ロジックツリー (問題解決)



ロジックツリー (原因追究)



3C



顧客分析

- 誰が対象なのか
- 何を求めているのか

競合分析

- 競合は何か
- 相手の強み、弱みは何か

自社分析

- 自分の強み、弱みは何か

SWOT



Strengths

強み

商品・サービスの強みは何か



Opportunities

機会

販売機会・チャンス



Weakness

弱み

商品・サービスの弱みは何か



Threats

脅威

商品の脅威となる外部要因

4P

製品志向・企業視点の考え方

製品
Product

価格
Price

流通
Place

販売促進
Promotion

価値は何か

品質、
デザイン、
ブランド等

価格は

割引、
支払い条件、等

どこで

販売チャネル
輸送
立地
ネット等

どうやって

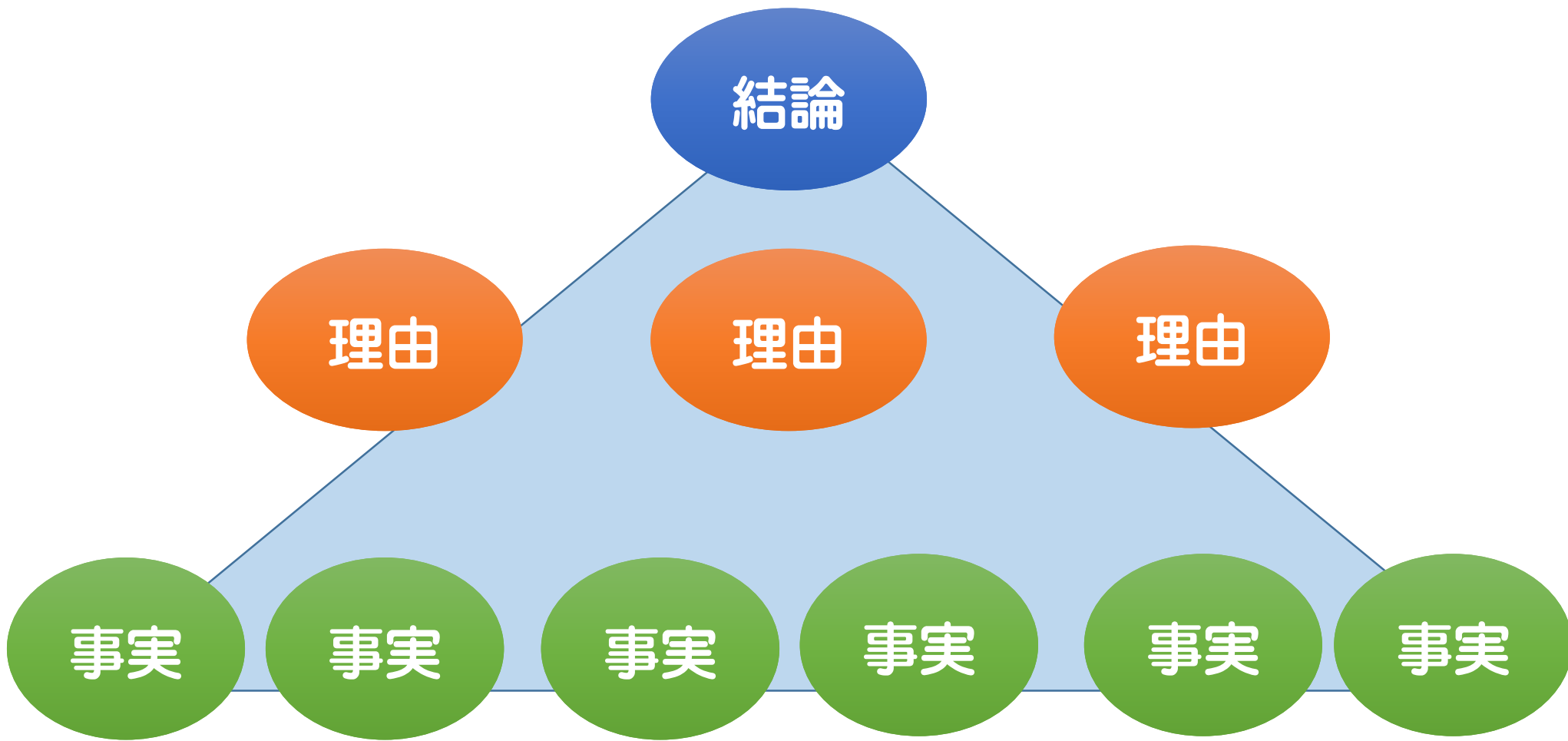
広告
DM
販促
口コミ、等

1年間のまとめを最終講義(1月)にするためのプレゼン資料を作成する

結論(ゴール)を設定してそのゴールに向かって論理的に考えながら資料をつくる

論理 = 結論 + 根拠

このプロジェクトに参加した理由



<プレゼンテーションの順序>

【前提】

参加した理由と目標

【結論】

何をつたえたいかという結論（主張）

【理由】

なぜそうなのかの理由

【事実】

なぜそうなのかの事実

【課題・
対策】

結論からどういう課題があるのか
今後どうしていきたいのか

	テーマ1	テーマ2	テーマ3
第1回	障害者雇用を取り巻く環境	3分間自己紹介「言葉にする力を身に着ける」	
第2回	業種、職種、ジョブ・ディスクリプション（職務記述書）について	広報業務の実際と見えてくる必要なスキル「伝えるフレームワークを身に着ける」	目標を立てる「目標管理シートの役割を知る」
第3回	合理的配慮と働きやすさ ～就業好事例から～	キャリアをデザインするために大事なこと	リスク管理の本質を知る「自身の周囲のリスクの見える化と対処法を身に着ける」
第4回	適性に合う仕事を考える	合っている仕事とはどういうことなのか？	プロジェクトマネジメント「P-D-C-A、段取り力を身に着ける」
第5回	相談するスキル	マーケティング「自分の強みを言葉にしてみる」	「自分をマーケティングする」ワーク
第6回	できること苦手な事を整理する	目標による管理と評価と処遇の仕組み・自己評価シートの記入の方法「自身の成果を正しく伝える」	目標に対する自己評価ワーク
第7回	クレーム対応、トラブルへの対応	人事担当役員に聞く	プレゼンテーションマネジメント「誰に対して何をどのようなかたちで伝えるかを実践する」
第8回	適切な表現について(1)	障害者採用について	クリティカルシンキング「そもそも力を身に着ける」
第9回	適切な表現について(2)	ロジカルシンキング「情報整理のフレームワークを身に着ける」	発表会に向けたワーク
第10回	1年間のまとめ発表		

ワークの目的

プレゼン内容を作成するための情報整理

「学びになったこと」「印象に残ったこと」「仕事に活かされたもの・活かそうとしたこと、を各人が発表して、プレゼン資料の作成に活かす

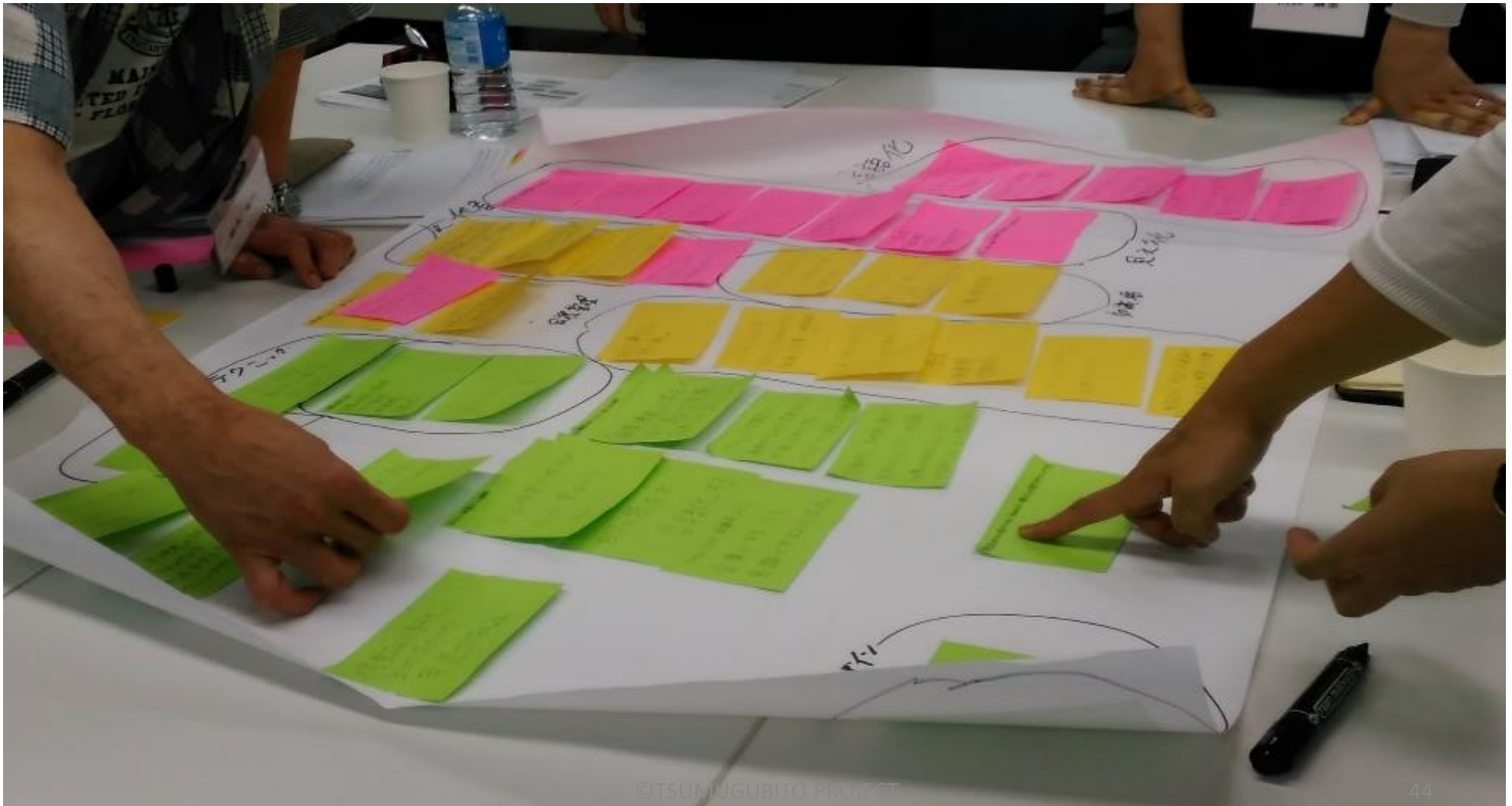
ワーク

- 学びになったこと
- 印象に残ったこと
- 仕事に活かされたこと
- 活かそうとしたこと
- 今後活かしたいこと



各人で付箋に書く

模造紙に貼りながら説明する



ワー

情報整理をする



次回の最終回(1月18日)は、
全員に「一年間のまとめ」を発表していただきます。

全員によるまとめ報告

- ・石井さんと榎本
- ・一期生全員

※終了後に近くの中華飯店で懇親会(参加は任意:会費1500円)を予定しています。

発表にあたり

- 一人当たり約10分まで
- 発表順はくじ引き、他
- パワーポイントで作成し、前日までにメールにて送付
- 作成にあたり不安のある人は要相談